

# 市民の切実な願いに背を向けた市議会

なぜ？

# 「巡回バス請願」を不採択に

請願への態度 採択○、不採択●  
敬称略

かけの まち子	共産党	○
東 よしき	共産党	○
森 ケイ子	共産党	○
古田 みちよ	公明党	●
鈴木 貢	公明党	●
野下 達哉	公明党	●
尾関 健治	江政ク	●
江口 雅明	江政ク	●
牧野 圭佑	江政ク	●
中西 保夫	江政ク	●
山 登志浩	社民党	●
稲山 明敏	政新ク	●
伊神 克寿	政新ク	●
古池 勝英	政新ク	●
河合 正猛	江政ク	議長
小林 弘子	江政ク	●
木本 恵造	江政ク	●
沢田 和延	江政ク	●
古田 富士夫	政新ク	●
宮地 友治	政新ク	●
高田 健孝	政新ク	●
福田 三千男	政新ク	●

\*江政クの小林弘子氏は、民主党公認です。

## 東よしき議員の賛成討論(要旨)

委員会では予想に反し「私だけの賛成少数」で不採択でした。私以外の委員の意見は「趣旨はよくわかる。将来的には必要。だから財政面をよく検討する必要がある。」などで、否決理由は「時期尚早だから」でした。しかし、むしろ遅きに失しているのではないのでしょうか。

昨年5月時点で名古屋市を除く県下36市中31市で、すでにコミュニティバスが走っています。江南でも市民の強い要望に応えるため、昨年、議会の総意として建設産業委員会は、地域の公共交通機関の整備について調査検討を行い、報告書を提出しました。これらの背景には「コミュニティバス等による交通の確保は、住民生活にとって必要不可欠」という考え方が広がっているからではないのでしょうか。

今議会の かけのまち子議員の一般質問では、市当局から「委員会報告書」を尊重し、担当課だけでなく、行政経営課など関係各課を含めた庁内体制を夏場あたりまでに立ち上げ、真剣に取り組んでいきたいと答弁がありました。行政と議会は車の両輪。「生活交通の充実を」と市民から請願された議会がこれを採択すれば、行政を後押しし激励することになります。議会も当局と力を合わせ、一緒に取り組もうではありませんか。

この請願の趣旨は、「利用しやすい巡回バスを走らせ生活交通網を確保する。同時に、バス停まで行くのも困難な人々を補完するドアーツードアの いこまいCAR予約便は、負担軽減して残す」という、総合的な生活交通の充実を求めるものです。これは、「委員会報告書」とも合致しています。本請願を採択することをあらためて議場の皆さんに呼びかけ、討論を終わります。

2,800余の署名を添え6月議会に提出された「巡回バスを走らせ、いこまいカー予約便の値下げを求める請願」は、27日の本会議で採決が行われ、日本共産党市議団3人の賛成のみで、不採択となりました。  
日本共産党は東議員が賛成討論。江政クラブ・政新クラブ（共に自民系）・公明党を代表し、伊神議員が反対討論を行いました。しかし反対理由は「市当局に新たな体制でしっかり検討してもらえばよい」という

他人事のようなものでした。  
今回の請願不採択は、議会が市民の願い実現を後押しするどころか、願いに背を向け、議会の総意である「委員会報告書」も反故にしてしまうものです。  
また4月の市議選では、日本共産党以外にも数人の候補者が、「市内循環バス」「公共交通網の整備」などの公約を掲げていたはず。自らの公約はどこへ行ってしまったのでしょうか。

福島第一原発事故は、浜岡原発の危険と不安を現実のものとししました。中部電力は政府の要請を受け入れ、浜岡原発の運転を停止しましたが、「安全対策」を講じた後の運転再開を条件にしています。しかし、多くの人々が再稼動しないことを強く願い、声は日ごとに広がっています。「浜岡原発の永久停止・廃炉を求める静岡県大集会（7.23ひまわり集会）」に、みなさんで参加しましょう！

土壌の放射性物質を吸収してくれるという「ひまわり」に願いをこめた「7.23ひまわり集会」。尾北からもバスで参加します。詳細は後日お知らせします。

7月23日(土) 11時  
静岡市駿府公園東御門広場

浜岡原発の永久停止・廃炉を  
求める静岡県大集会  
7.23ひまわり集会

東日本大震災日本共産党救援ボランティアに、森ケイ子議員が参加します。

(7月5日～8日、宮城県仙南地域)

救援物資(お米など)、募金にご協力下さい！

